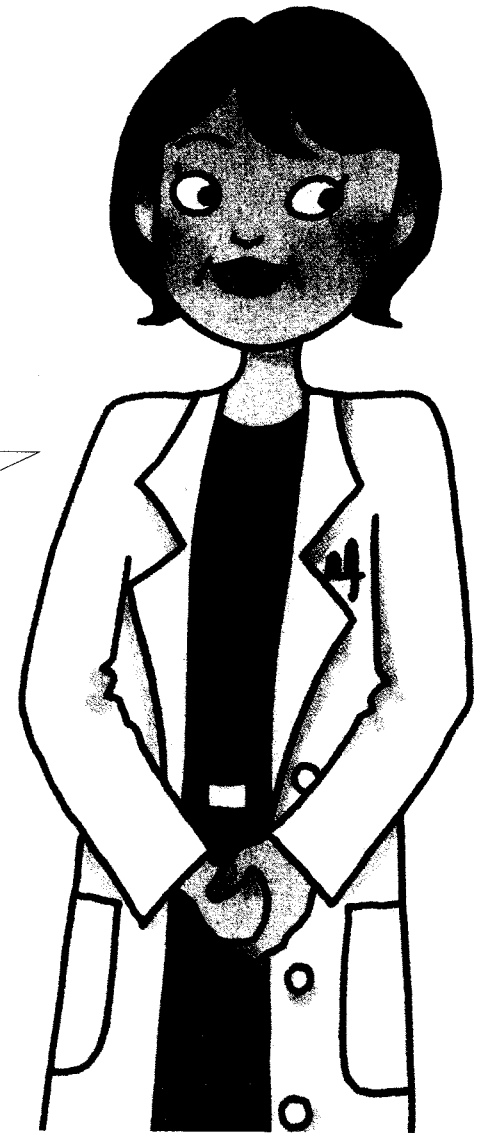


「乳がんになったら、乳房を切らなければいけないからコワくて……」

4

乳がん治療は、<sup>しゅよう</sup>腫瘍とその周辺だけを切り取り、乳房全体に放射線にゆうぼうおんぞんりようほうをかける「乳房温存療法」が主流になってきています。



乳がんの場合、がんのかたまり以外にも、目に見えないがん細胞が正常の乳房の中に存在すると言われます。以前は、こうした細胞からの再発を予防するため、乳房を切除する場合もありました。今は、メインのがんは簡単な手術で切り取り、<sup>ほうしゃせん</sup>放射線療法や化学療法をあわせて行うことで、乳房を残せる場合が増えていきます。放射線治療の1回の治療時間は約1分。身体の温度は2000分の1度しか上がらず、痛さも熱さも感じません。



ぜひ、無料がん検診をお受けください。

「がんになっても、医療費を払えないかもしれないから不安で……」

5

がんの治療は、  
手術でも放射線治療でも  
抗がん剤でも、  
基本的に保険がききます。



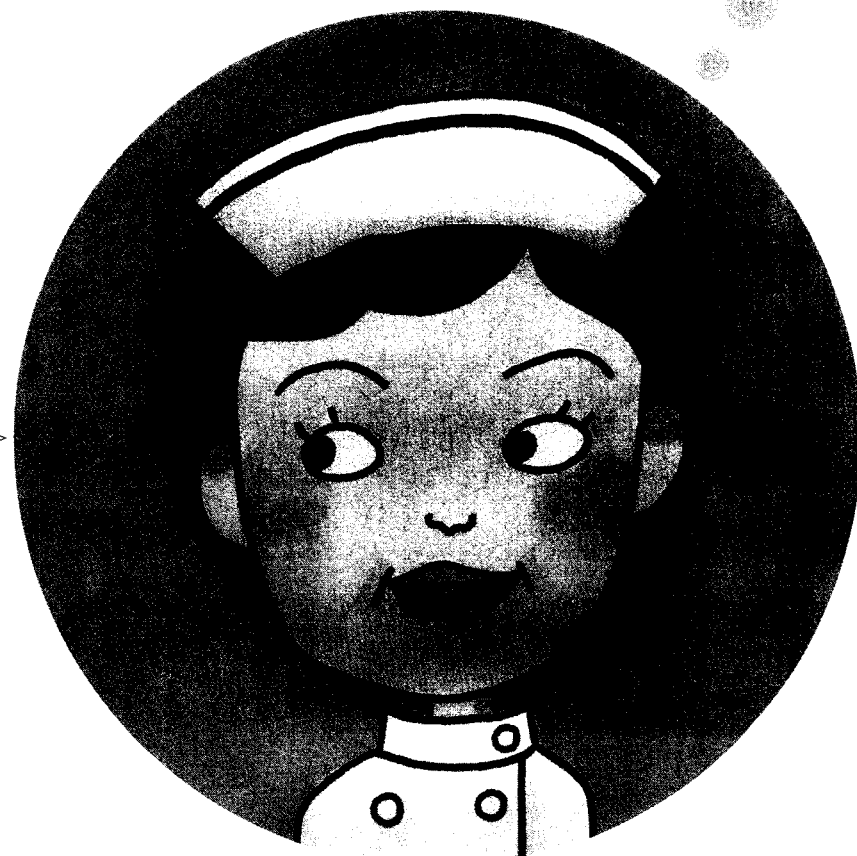
たとえば乳がんの放射線治療の治療費は、3割負担  
なら、全部（25回程度の通院）で10～12万円くらい。  
こうがくりょうよう ひせいど  
高額療養費制度を使えば、1ヶ月の支払いは、標準的  
な収入の方であれば、8万円程度ですみます。放射線  
治療は、入院せず、仕事をしながら、外来で治療でき  
る利点もあります。抗がん剤などの化学療法も進歩し  
ており、ふつう、保険もききます。

♥ ぜひ、無料がん検診をお受けください。

「早期発見できても、お金と時間をとられるだけで治るのかしら……」

6

がんの治療は早期に発見できれば、完治の可能性も高く、お金や時間の負担も軽いのです。たとえば、胃がんでも、早期がんのうち手術をすれば、まず完治すると言えます。



逆に、がんが、進行して他の臓器ぞうきに転移てんいすると、治療はむずかしくなります。その場合は、延命えんめいや痛みなどの症状をとることを目的にした治療が行われますが、入院が必要となるなど、時間も費用の負担も増えることが多いのです。



ぜひ、無料がん検診をお受けください。

「食事や運動に気をつけているし、遺伝的にも大丈夫だから……」

7



がんは、遺伝でできるものではなく、生活習慣病の要素が大きい病気です。健康な人の身体にも、毎日毎日多数のがん細胞ができることがわかっています。

遺伝するがんは、全体の5%にすぎません\*。そもそも、毎日多数のがん細胞ができては、<sup>めんえき</sup>免疫の細胞に殺されています。たまたま、免疫が取りこぼしたがん細胞が、10～15年近い時間を経て、目に見える「がん」に育っていくのです。たばこを吸わず、酒も飲まず、食事のバランスに気をつけ、運動を心がけても、がんになるリスク（危険性）は減少しますが、ゼロにはなりません。ですから、次の<sup>そな</sup>備えとして、早期に見つけて完治させるがん検診が必要なのです。「生活習慣の改善＋がん検診」で、がんで死ぬ確率は大きく下がります。がんにならないければ、がんでは死にません。そのためには、<sup>きんえん</sup>禁煙が大事。そのほか、お酒もほどほどにして、野菜中心の食生活や運動を心がければ、がんになるリスク（危険性）は大きく減ります。しかし、それでも、がんになるリスクは残ります。ですから、「2段がまえ」が大事、検診が必要なのです。

※『文藝春秋』2008.8, p. 330



ぜひ、無料がん検診をお受けください。